



意見交換

に行けるものだと感じられるようになるかもしれません。気楽に行ってみようかという気分にはどうしたらなれると思いますか。

私は、小さいころからよく親に連れられて選挙に行っていたので、選挙に対するイメージが親しみの持てるものになったと思います。子どもの頃から、そういうふう

に選挙に親しむということも大事だと思います。

若い人が政治に関心がなくなっているのは、表向きのことであって、本当は、もつと政治に対し、心の底では関心があるのではないかと思います。また一方で、自分の生活と政治とのつながりを実感できないということが投票所に行かない理由であると思つし、そのあたりはどうですか。

倒産する会社もこれからどんどん増えてくるでしょうし、全く関心がない訳ではありません。ただ、そういったことを知らない若い人が多いというのも確かです。このような人たちは、自分の生活と政治とのつながりの実感が

ない。投票所に行かない理由は、そんな感じかもしれません。若いみなさんには、投票する友だちをたくさん作っていただくことを期待します。一緒に投票に行ける友だちをどんどん作って輪を広げていく、すばらしいことだと思います。

若い人たちの意識には、社会が何でも自分のため

にしてくれると思つているところがあるのではないのでしょうか。自分の身と小さい子どもたちを守るのには、自分なのだということがきちんと実感されているのでしょうか。気が付いた人が、気が付いたときに、気が付いたことを言わないと何も変わらない。そういう具合に思うと、なにか違った局面が開けてくるんじゃないかなと思つのですけど、いかがですか。

私も甘えがあると思えます。矛盾していますけど、政治に期待しないという面もありです。でも、投票しないと変わらないこともわかっています。

今の若い人は、人に自分の考え方を理解してもら

うということが非常に下手なわけではないでしょうか。私自身がそうなんですけど、自分の意見を外に対して言うことは、ちょっと言い出しづらいつうか、自分を外に出すのが苦手な部分ですごく多くて、それは変えていかなければいけないところなんですけど。

自分の考えは、多分、みな、いろいろ持つていると思うのですが、自分の利益に関わつてくると、やっぱり、関心とか持つてくるし、不満とかもいろいろあるし、じゃあそれらをどこにぶつけていたらいいのだろうというとき、議員さんなんかには働きかけをしていくことも大切なことだと思えます。

自分の意見を出すことが確かに若い人は、人前で意見を言つたりすることが、苦手です。最初は、インターネットで立候補されている人のホームページにアクセスしてみるとか、こちらから働きかけることも必要だと思えます。

投票日に勤務している人に対しては、投票につい

て職場の上司や経営者が配慮することも大事なことです。若い人はやりでなく、行かせると会社側も責任を持つ。そういう輪も広げていかなければと思えます。

みなさん、たくさんの方から重なる意見をいただきました。この会で述べられた意見を今後の啓発活動に生かしていくこととしていますが、家庭や職場からもぜひ投票の呼びかけを行つていただきたいと思います。また、みなさんにとつても、この会で何か得るものがあったら幸いです。ありがとうございました。

(おわり)

